

平成26年度 附属学校園存続のための特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	児童・生徒理解研究プロジェクト
事業実施代表者名	根本 直樹
実施附属学校名	附属函館小学校
事業内容	<p>児童理解や学級経営，校種間連携についてのプロジェクトである。より実効性のある研究にするため，事業内容を精選し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の中核となる道徳の時間の研究 ・幼小連携における小学校の取組に関する研究 <p>を実施することとした。</p> <p>道徳の時間については，本校でも全学級の公開などに取り組んでいるが，今後特別の教科として扱われることを鑑み，実践校への視察を行うこととした。また，幼小連携に造詣の深い指導主事から指導・助言を得るための視察を行い，校内に環流するとともに，学級経営に関する図書を購入し研修に役立てることとした。</p>
成果と課題	<p>事業の開始時期が遅くなったため，短期間での取組となった。昨年10月に特別の教科として位置付けることが中教審の答申で示された道徳の時間について，本校では12月に全員が授業公開を行うなど，実践上の課題解決に努めてきた。さらに，一人一人の子どもを理解し学級経営の充実を図る上で，道徳の時間の指導を一層充実させることが必要と考え，釧路小学校の理論と実践を学ぶ機会を設け，次年度の計画に生かすこととした。</p> <p>また，附属函館幼稚園において幼小連携を研究テーマに実践を進めているが，小学校として幼稚園のニーズに応えるだけでなく，円滑な接続に向けた校内体制や教育課程を一層工夫させるため，国内でも先進的な取組を進めている横浜市教育委員会の指導主事から取組事例について情報を得ることによって，次年度の取組に生かすこととした。</p>
今後の発展性	<p>本事業内容は，日常の学級経営や校種間連携に生かすことができるため，全教職員で共有することによって児童理解や道徳の時間の指導，幼稚園との実践研究に役立てていく。</p>
事業の公表状況	特になし

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は，この事業報告書に添付すること。